

2025 年度「伝統的工芸品公募作品展」作品管理・展示・輸送等業務委託

企画公募 仕様書

(1) 業務の名称

2025 年度「伝統的工芸品公募作品展」作品管理・展示・輸送等業務委託

(2) 主催（発注者）

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会（以下「伝産協会」）

（共催：日本伝統工芸士会）

(3) 想定スケジュール

※審査会・展示会期など、肝となるスケジュールは青色で示す。

※出品申込は 7～8 月頃。伝産協会が受付し作品情報をデータ化し作品受付までに共有予定。

業務内容	日程・会期	場所
作品の受付・開梱・記録撮影	9 月以降（日程と場所は要相談）	受注先
審査会の設営準備・パネル等作成 ※伝産協会の備品の搬出入を含む	審査会前	受注先
審査会 （非公開）	2025 年 10 月 9 日（木） ※作業時間を含め詳細は要相談	会場は受注先が手配すること
一部の作品の一時的な返却	審査会後（10 月中旬）	受注先
受賞作品の撮影	10 月中 （作業日を含め日程は要相談）	受注先
授賞式・展示会のパネル等作成	10 月中～11 月上旬	受注先
授賞式 （作品の展示はしない。待合室でのパネル類の掲出を想定）	11 月 18 日	有楽町よみうりホール（千代田区）
一部の作品の再送付の受付・開梱	11 月中旬	受注先
展示会 （全作品を展示）	【会期】11 月 26 日 10：00 ～12 月 8 日 13：00 【作業日】 ① 11 月 21 日 →美術館の収納庫へ作品搬入 ② 11 月 25 日 →1D 展示室の設営・展示	国立新美術館 1 階 1D 展示室（港区）

	③ 12月8日(13:00~) →作品撤収(収納庫へ移動) ④ 12月9日 →収納庫での梱包・輸送(受賞作・ 売約品は伝産協会へ搬入。その他は 受注先倉庫へ搬入予定)	
作品返却 (受賞作・売約品を除く)	12月中	受注先倉庫
優秀作品展 (入賞作を中心とした上位作品約 70点を展示予定)	【会期】 12月19日12:00~ 2026年1月8日18:00 【作業日】 ① 12月18日(19:30~21:00) →設営・展示 ※予備日 12月19日(9:30~12:00) ② 1月8日(18:00~20:00) →撤収(店舗から完全撤収) ※予備日 1月9日(会議室で終日作業可能)	伝統工芸 青山スク エア(港区) ※伝産協会が運営す るギャラリー。 ※作業場所として伝 産協会の会議室を利用可。
作品返却	1月中	受注先倉庫または伝産協会の会議室

※期間中、作品の保管は原則として受注先倉庫で担うこと。

※詳細なスケジュールは委託後、協議のうえ決定する。

(4) 応募作品の見込み数

約350点

【想定される工芸品】織物・染色品・繊維製品・陶磁器・漆器・木工品・竹工品・金工品(刃物含む)・仏壇仏具・和紙・文具・石工品(貴石細工含む)・人形こけし・そのほか諸工芸

※等身大の仏像・石工品、大型の壁面、箆笥等の家具が出品される場合がある。

※組・セット商品は1点としてカウントする(例/急須と湯呑5客のセット等)。

※作品本体の他、化粧箱等の付属物も展示する場合がある。

（５）業務委託内容

5-1. 各種保険の提案・加入・管理

下記の仕様書に示す一連の委託業務（作品受付後、各種展示および全作品の返却業務を終えるまで）の期間中、必要と思われる各種保険を提案すること。業務委託の決定後、伝産協会と協議し保険内容を協議したうえで加入・管理すること。また有事の際は保険会社（代理店）および出品者との協議、手続き等の対応を伝産協会に代わり行うこと。

【想定される保険】

- 保管期間中の保険
- 展示中の保険（作品の破損・紛失、来場者の負傷、会場の建物・備品類の破損）
- 輸送時（受注先倉庫から展示会会場および伝産協会への輸送時）の保険
- 作品返送の保険（送料に含めても可）
- 類似の工芸・美術コンクールにおいて一般的と思われる保険種目があれば提案すること。

《賠償責任保険の免責想定》

- ① 施設所有者賠償責任（保険金額 1 事故 10,000 万円、免責金額 0 円）
- ② 借用施設保障（保険金額 1 施設 3,000 万円、免責 10 万円以下）
- ③ 受託者賠償責任（保険金額 1 事故 出品合計金額、免責 1 万円以下）

《出品合計金額の想定（見積用）》

作品 1 点 50 万円×350 点（合計 175,000,000 円税込）を想定し、見積を作成すること。

※実際には数百万円以上の高額品から数千円の安価なものまで幅広い価格の出品が予想される。

（参考）2024 年度の応募実績

展示会名	作品点数	作品総額（税込）	最高額	最低額
全国伝統的工芸品公募展	212	¥63,449,611	¥3,850,000	¥2,200
日本伝統工芸士会作品展	180	¥130,401,800	¥11,000,000	¥17,600

5-2. 作品受付・開梱・記録撮影・作品管理

- (1) 作品受付、保管場所を提供すること。
- (2) 伝産協会がデータで共有する申込時の作品情報をもとに、整理分類・開梱し、内容及び状態の確認作業を行うこと。また作品情報との齟齬や破損等が見つかった場合、製作者に問い合わせ確認すること。
- (3) 受付状況をデータ等で管理し、進捗を伝産協会に共有すること。
※整理分類やデータの共有方法は委託後、協議して決定する。
※作品は送付受付が原則だが、一部、製作者による直接搬入の可能性がある。
- (4) 全作品の記録撮影・資料作成

- a. 適宜、全ての応募作品の記録用写真を撮影すること。
※作品全体と付属品を撮影すること。記録用のため背景やアングル、また画質は問わない。
※データのタイトル【業種・作品番号・製作者名】を入力し、伝産協会に共有すること。
※画像データの著作権は伝産協会に帰属する。
- b. 記録用写真は最終的に応募情報の一覧データに反映し、簡易的な目録を 11 月中旬までに作成すること（フォーマットの詳細は委託後協議）。

5-3. 審査会の会場提供・展示・運営補助

(1) 審査会場の提案・手配

350 点が展示できる広さを有し、下記の条件を満たす会場を提案すること（400 m²以上を想定）。

- ㊦審査会（2025 年 10 月 9 日）を中日として、前後 1 日ずつ、最低 3 日間利用できる会場であること。初日は搬入・展示業務、最終日は撤去・搬出業務を想定。準備と撤収の日程は追加しても可。
- ㊧都内近郊で公共交通機関及び徒歩でのアクセスが可能なこと。交通の便がいいことも評価の対象とする。
- ㊨業種（織物、陶磁器など 15 業種を想定）ごとにまとまりを作り、極力、作品番号順に並べること。
（大型作品・壁面装飾・刃物類等の特殊な形状・サイズの作品の場合は作品番号順でなくても可）
- ㊩審査委員（約 15 名）が着席し、議論および休憩（昼食をとる）スペースを設けること。
- ㊪伝産協会の職員（約 10 名）の作業スペースを設けること（PC 2 台による投票の集計、飲食を伴う休憩、荷置き場として利用）。
- ㊫審査会で生じたゴミ（弁当ガラ、ペットボトルなどの飲食物および紙類など）を破棄すること。

（環境・設備について／任意）

※有線 LAN、Wi-Fi を問わずオンラインでの作業が可なら尚良し（必須ではない）。

※ホワイトボード 1 台、審査結果等のデータを出力できるプリンターの貸与があれば尚良し（必須ではない。貸与不可の場合は、伝産協会の該当備品を搬入する）

(2) 審査会場のレイアウト作成

応募締切後、作品情報が確定したら伝産協会と協議し会場レイアウトを作成すること。

(3) 必要な備品・什器の手配

- ・作品展示に必要な備品、什器を手配すること。
- ・業種札を挟み、立て看板として設置するためのスタンドを手配すること
（作品の位置が遠目でもわかるように業種札を目立たせるため。状況により壁に貼り付けても可）。

《備品の想定（見積用）》

- ・展示台（任意。一般的な長机も可）のほか、衣桁 30 本、撞木 40 本、吊りワイヤーフック 10 本、トルソー 5 体、畳（大・中）各 20 枚を想定して見積を作成すること。
- ・業種札のスタンドは 15 本を想定して見積を作成すること。

(3) 製作物の委託

下記の展示備品を制作し、展示すること。

製作物名	サイズ等	数量
作品カード	縦 8cm×横 20cm（半光沢紙） ※平置きを想定	応募点数分（350 枚 想定）
賞札	縦 30cm×横 10cm ※モノクロ印刷。立て置き。 ※ハレパネ等で厚みを持たせること	15 枚想定
業種の分類札	A4（両面印刷） ※ハレパネ等で厚みを持たせること ※立て看板（または壁貼付）を想定	15 枚想定
第一次審査時の作品 配置図の作成 ※データ納品	会場レイアウト案をもとに、審査会当 日の配置図を完成すること（審査委員 に配布予定）	審査会の 5 営業日前 までにデータ納品す ること

※必要なデータのうち伝産協会が作成するものは支給

※用紙サイズ等詳細は、委託後に協議し決定。

★「賞札」「業種分類札」は展示会場（国立新美術館、青山スクエア）に流用する。

（4）当日の展示業務、審査中の作品移動など運営補助

審査は 1 日間で行う。審査委員による投票制で第 1 次審査、第 2 次審査を経て、合議により各賞を決定する。第 2 次審査時、賞決定時に作品の移動や並び替えを行うこと。

（5）（審査会終了後）再梱包・保管作品

展示会（国立新美術館）まで適切に保管すること。

※着物・木工など、管理が難しい作品は、一時的に製作者に返送する可能性がある。その場合、返送業務を委託する。なお一時返却にかかる返送料・再送付料は伝産協会負担とする。

5-4. 入賞作品の撮影（広報用画像として利用）

審査会の終了後、入賞作品の広報用写真を撮影し、データ（.JPG）を納品すること。

※カメラマン及び撮影場所の手配を含めて委託する。撮影データは授賞式で掲出するパネルに掲載するため、パネル作成に間に合うスケジュールで撮影を行うこと。

※1 作品につき 3 カット撮影予定。

※各データ名は、賞名・作品番号・製作者名を入力すること。

※印刷を想定した高解像度かつ背景色の統一、作品の形状や質感・色等に配慮すること。

※画像データの著作権は伝産協会に帰属する。また入賞者へ受賞作品のデータを渡し、自身の広報への利用を認める。

5-5. 外部会場の設営・展示について

【5-5-①授賞式】

㊦概要

日程：2025 年 11 月 18 日（火）

時間：未定

会場：有楽町よみうりホール（東京都千代田区有楽町 1 - 11 - 1 読売会館 7 階）

① 具体的な業務内容

(1) 有楽町よみうりホールへ提出が必要な書類があれば、伝産協会と協議の上、作成すること。

(2) 下記の展示備品を制作し、展示すること。 ※作品の展示は行わない。

製作物名	サイズ等	数量
パネル①2025 年度入賞者一覧 ※撮影委託する広報用画像を使用すること。	B 1	1 枚
パネル②開催主旨（日本語）	B 1	1 枚
パネル③開催主旨（英語）	B 1	1 枚
パネル④審査委員一覧	B 1	1 枚
パネル⑤主催者・共催者挨拶（日本語）	B 1	1 枚
パネル⑥主催者・共催者挨拶（英語）	B 1	1 枚

※作成に必要なデータは伝産協会より支給 ※サイズ等詳細は、委託後に協議し決定。

★各パネルは展示会場（国立新美術館、伝統工芸青山スクエア）に流用する。

【5-5-②展示会（国立新美術館）】

㊦概要

会期：2025 年 11 月 26 日（水）～12 月 8 日（月） ※12 月 2 日（火）休館

会場：国立新美術館 1D 展示室（東京都港区六本木 7-22-2 1 階）

（作業可能時間 9：30～18：30 ※事前に申請することで 20：00 まで延長可）

展示対象：全作品

① 具体的な業務内容

※作業日程は「(3) 想定スケジュール」(1 頁)を参照。

(1) 国立新美術館へ提出が必要な書類があれば、伝産協会と協議の上、作成すること。

(2) 展示場所（面積 1,000 平米）に合わせたレイアウトを伝産協会と協議し作成すること。

(3) 必要な什器と備品を揃えること

※国立新美術館から貸与される備品を利用し、足りない分をレンタルで手配すること。なお美術館の備品と雰囲気を整え、会場の統一感を出すこと)

《レンタル備品・什器の総定数（見積用）》

以下を想定し、見積を作成すること。

- ・ 刃物用の鍵付きガラスケース 3 台
- ・ 衣桁 30 本
- ・ 撞木 40 本
- ・ 吊りワイヤーフック 10 本
- ・ トルソー5 体
- ・ 畳（大・中）各 20 枚
- ・ 陳列台用（大）サイコロ 80 個
- ・ 陳列台（W2400×D1200×H30）40 個

《補足：美術館提供の備品について》

国立新美術館の備品カタログを参考に備品を選び、希望数を申請後、美術館が決定する。
借りられる数量は毎年異なる。

（2024 年度の美術館の貸出実績）

彫刻台 W350mm×D350mm×H1100mm	2 台
彫刻台 W600mm×D600mm×H600mm	2 台
陳列台（覗きケース兼用） W1800mm×D900mm×H50mm	65 台
覗きケース用アクリル板	60 枚
陳列台用サイコロ（大） W350mm×D350mm×H650mm	105 個
陳列台用サイコロ（小） W150mm×D200mm×H350mm	90 個

(3) 作品の搬出入および展示・設営業務を行うこと。

※搬出入時、伝産協会に立ち寄り、協会所有の備品類の積み下ろしも行うこと。

(4) 下記の展示備品を制作し展示すること。

製作物名	サイズ等	数量
タペストリー（天井吊り）	縦 210×横 300cm	1 枚
パネル⑦協会・伝統マーク紹介（日本語）	B 1	1 枚
パネル⑧協会・伝統マーク紹介（英語）	B 1	1 枚
パネル⑨青山スクエア紹介（日本語）	B 1	1 枚
パネル⑩青山スクエア紹介（英語）	B 1	1 枚
パネル⑪イラストマップ（日本語）	B 0	1 枚
パネル⑫イラストマップ（英語）	B 0	1 枚
パネル⑬来場者への撮影案内（日英併記を想定）	B 1	6 枚
パネル⑭展示の見方など補足（日英併記を想定）	B 1	1 枚
作品カード	縦 8cm×横 20cm	応募点数分 (350 枚想定)

※作品とともに展示。平置きを想定しているが立体作品は立て置きなどの可能性あり)	※ハレパネ等により厚みを出すこと	
入賞作品紹介カード(審査講評を掲載)	はがきサイズ ※ハレパネ等により厚みを出すこと	15枚想定

※作成に必要なデータは伝産協会より支給 ※サイズ等詳細は、委託後に協議し決定。

★パネルは伝統工芸青山スクエアでの展示で流用掲出する場合がある。

(6) 会場に設置するメディア機器の手配(来場者の視聴用)

㊦テレビモニター(60インチ程度)1台

㊧メディアプレイヤー(USBメモリ対応)1台

(7) 受付スタッフの派遣

会期中の受付スタッフ2名を派遣すること。(各日9:30~18:30/休憩1時間含む)。

来場者のカウント・対応、会場の清掃など、一般的な受付業務を委託予定。

(専門的な質疑、関係者・マスコミ対応等は伝産協会の職員が行う)。

(8) 撤収・作品輸送

・12月8日閉会後、当日中に撤収すること(地下作品収納庫へ移動、一時保管)

・12月9日梱包作業等。作品・備品を受注先倉庫(または伝産協会)へ運搬

(9) 作品(一部)の返却

優秀作品展の展示対象および会場で売約された作品を除き、順次返送。

《補足：作品の返送業務について》

応募情報をもとに返送伝票を作成し、破損・紛失のないよう梱包・返送を行うこと。

なお出品者から運送状況に関する問い合わせがあった場合は対応すること。

※作品返送は送付が原則だが、作品の性質等により出品者が直接搬出をする場合は対応すること。

【5-5-③優秀作品展(仮称)(伝統工芸 青山スクエア)】

㊦概要

会期：2025年12月19日~2026年1月8日 ※12月28日~1月3日休館

会場：伝統工芸 青山スクエア(東京都港区赤坂8-1-22 1F)

展示対象：入賞作を中心とした上位作品(70点想定)

㊧具体的な業務内容

※作業日程は「(3) 想定スケジュール」(1頁)を参照。

(1) 展示場所(面積約78平米)に合せて伝産協会と協議してレイアウト案を作成すること。作成にあたり「伝統工芸 青山スクエア」に来店し導線・什器・備品等の確認を行うこと。

※什器・備品(可動式展示台、刃物用の鍵付きケース、衣桁・撞木、畳、小物類の亚克力台等)は店舗から提供可。ただし足りない場合はレンタル等で揃えること。

(2) 搬出入および展示、設営業務を行うこと。

(3) 下記の展示備品を作成し、掲示すること。

製作物名	サイズ等	数量
看板（天井吊り）	横 1200mm×縦 480mm（カラー両面印刷）	1 枚
作品カード	縦 10cm×横 20cm ※ハレパネ等により厚みを出すこと	70 枚想定
入賞者紹介カード	はがきサイズ～A5 程度 ※ハレパネ等により厚みを出すこと	15 枚想定（入賞者分）

(4) 撤収・作品輸送・返送業務

・1月8日（18：00）閉会後、当日中に完全撤収し、伝産協会の会議室（または受託先倉庫）に作品・備品を移動すること。

・1月9日以降、順次、梱包・返送作業を行うこと。

※短期間であれば伝産協会の会議室を作業場として提供可。

5-6. そのほか想定される業務

① 業務遂行のための対面による打合せ（数回を予定）

② 対外的な書類の委託業務に関わる記述の確認作業

※7月頃、出品者に向けた「応募要項」を公開予定。作品送付・返送時の注意、保険の免責事項、展示に関する注意等、委託業務に関わる記述内容について協議及び確認を依頼する予定。

※そのほか施設等への書類作成において、委託業務に関わる記載確認を依頼する予定。

③ 伝産協会が求める事務書類の作成提出

④ 伝産協会との速やかな情報共有

※各会場への連絡は原則として伝産協会が窓口となる。

※情報共有は Google ドライブ等オンラインサービスを活用予定。委託後要相談。

5-7. 企画提案（任意の提案で可）

よりよいコンクールの運営に向け、下記について経験・知見を生かしたアイデアを提案された場合、委託決定後、伝産協会と協議のうえ業務に追加することとする

① 運営上の工夫（会場配布資料や図録の作成、展示方法等）があれば提案すること。

② 展示・輸送中の作品の汚損、紛失等のトラブルを防ぐための工夫があれば提案すること。

（類似業務での知見を基にした具体案があれば尚良）

※①②以外にもスムーズな業務進行のために検討すべき提案があれば企画提案書に明記すること。

（6）見積作成における注意点・補足

見積書の項目は別紙「見積作成時のお願い」を参照し、任意の書式で提出すること。

また本企画公募への提出物および参加方法の詳細は別紙「実施概要」を参照すること。

※本企画公募に提出される見積は概算とし、実際に応募された作品の点数・種目・サイズ・価格・製作者の居住地等により価格変更が生じる項目（備品・什器レンタル費・保険料・作品返送料など）を含め、作品情報及び審査結果等、費用決定に必要な情報が定まった時点で改めて見積・明細を提出されたうえで費用確定、実費を支払うこととする。

以上

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
2025 年度伝統的工芸品公募作品展事務局